

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・物語や説明文を読み取ることができた。
- ・話の中心に気を付けて聞いたり、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、すすんで話し合ったりすることができた。

(2) 課題

- ・4年生は、内容の中心を明確にし、自分の考えを書くことに課題がある。
- ・5年生は、内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書くことに課題がある。
- ・6年生は、前学年配当漢字の読み書きと、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	令和元年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・約7割の児童が目標値を達成した。 ・話したり聞いたりすることや、物語の内容を読み取ることについては、目標値を大きく上回っている。 ・文章を書く問題では目標値に対して正答率が低く、内容の中心を明確にし、自分の考えを書く問題が、特に達成率が低かった。 		
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・約7割の児童が目標値を達成した。 ・どの観点も概ね目標値を達成しているが、自分の考えとそれを支える理由を明確にして文章を書くことについての達成率が低かった。 	<p>(第4学年時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話したり聞いたりすることや物語の内容を読み取ることについては、目標値を大きく上回っている。 ・漢字やローマ字の定着には二極化が見られる。 ・指定された長さで文章を書くことについて、達成率が低かった。 	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・7割強の児童が目標値を達成した。 ・どの観点も概ね目標値を達成しており、全ての観点で目標値と同程度か上回っているという結果を得られた。 	<p>(第5学年時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約7割の児童が目標値を達成した。 ・どの観点も概ね目標値を達成しているが、指示語についての理解の達成率が低かった。 	<p>(第4学年時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約7割の児童が目標値を達成した。 ・どの観点も概ね目標値を達成しているが、指定された長さで文章を書くことについての達成率が低かった。

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 配当漢字を書くことやローマ字を書くこと・読むことについては、目標値を概ね上回っている。 ・ 文の構成について、主語・述語の理解については目標値と同等である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の中心に気を付けて聞いたり、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、すすんで話し合ったりすることについて、目標値を上回っている。 ・ 登場人物の気持ちを読み取ることに、目標値を大きく上回っている。 ・ 指定された長さで文章を書くこと、段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書くこと、内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書くこと等で目標値を下回った。 	<p>国語への関心・意欲・態度については目標値を上回っている。</p>

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>5年生も6年生も、言語事項については、目標値を概ね上回っている。しかし、5年生も6年生も前学年配当漢字の読み・書きにやや課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生は、話し手の意図を考えながら、話の内容を聞き取ることに、目標値を上回っている。5年生は、意見の共通点に着目して考えをまとめることについては、やや課題がある。 ・ 5年生も6年生も、文章を書くことについては、概ね目標値を上回っている。5年生は自分の考えとそれを支える理由を明確にして書くこと、6年生は指定された長さで書くことにやや課題がある。 ・ 5年生も6年生も、物語や説明文を読み取ることは目標値を上回っている。しかし、情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約することにやや課題がある。 	<p>国語への関心・意欲・態度については目標値を上回っている。</p>

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の「すきなもののなかに」や2年生の「馬のおもちの作り方」で、分かりやすく伝えることの良さに気付かせ、順序立てて書く力を育む。 ・ 語と語の関係を把握し、助詞「は・を・へ」を正しく使い、身近な出来事を書く力を育む。 ・ 話す事柄を順序立てて、話す速さやみんなに聞こえる大きさの声に気 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えたい事柄を選び、順序立てて丁寧な言葉で分かりやすく話せるようにする。 ・ 音読(劇)発表会を通して、話す速さや声の大きさに気を付けて話す力を育む。また、話している相手を見てうなずきながら話を聞けるようにする。 ・ 1年生の「くちばし」では、問いに対 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あいうえおであそぼう」では、あそび歌の作成・「お手紙」では、音読劇発表会などの活動を取り入れ、楽しみながら音読ができるようにする。 ・ 身近な出来事を文章に書き、発表し合う機会を設けて、相手意識を高め、話すようにする。話すことを通じて積極的に人と関わったり思いや考えを広げたりすることを目指す。

を付けて丁寧な言葉で話す。	する答えという構成を学習し、基本文型を繰り返し読む過程で文型に慣れるとともに読む力を育む。	・読書を生活に役立てて、言語感覚を養い積極的に言葉を使えるようにする。
---------------	---	-------------------------------------

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく身に付けるために、ミニテストを取り入れたり、家庭学習の充実を図ったりして、個に応じた指導の充実を一層図っていく。 ・既習の漢字を使って文章を書くことを指導する。 ・ローマ字については、繰り返し読んだり書いたりすることで、定着を図っていく。タブレットの使用時にも、ローマ字入力で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の「食べ物のひみつを教えます」では、目的に適した事例を挙げて説明する文章を書く力を育む。 ・4年生の「お礼の気持ちを伝えよう」では、相手や目的に合わせて内容を考え、必要な事柄を落とさずに書く力を育む。 ・4年生「自分の考えを伝えるには」では、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意させ、文章を書く力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の働きについて、物事の内容を表す働きに加えて、考えたことや思ったことを表す働きがあることに教科書を活用して気付けるようにする。 ・話す・聞く・書く・読む活動から、言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりする場面を意図的に設けて、言葉がもつよさに気付けるようにする。 ・読書に親しむため、図書時間を活用し、読み聞かせや教科書関連の本の紹介などを積極的に行う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>漢字の意味を理解させ、熟語の意味や使い方へとつなげるようにする。また、文章の中で習った漢字を使う時間を設け、意識して漢字を使っていくようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対して適切に答えることを意識させるようにする。5年生の「どちらを選びますか」、6年生の「いちばん大事なものは」「みんな楽しく過ごすために」では、話の内容やテーマのポイントになる言葉を考えて聞くようにさせる。また、話す際に伝わりやすいように話の構成を考え、話せるようにする。 ・作文活動では、テーマに沿った内容で、全体の構成を考えて順序立てて書かせるようにする。特に自分の考えとそれを支える理由を明確にして書くことを意識させる。その際に、指定された時数を守らせるようにする。 ・物語では、登場人物の関係をとらえさせ、言動や様子から人物の気持ちや考えなどの変化を読み取る力を育む。 ・説明文では、筆者の考えや主張を事例文と結び付けて読み取れるようにする。そのために、指示語を意識させるようにする。学習活動として、情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約する課題を取り入れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に経験したことや行事での体験をテーマにして書かせたり話し合いをさせたりすることで、意欲を高める。 ・授業以外にも読書をする機会を増やすようにし、言葉をよりよく使えるようにする。